

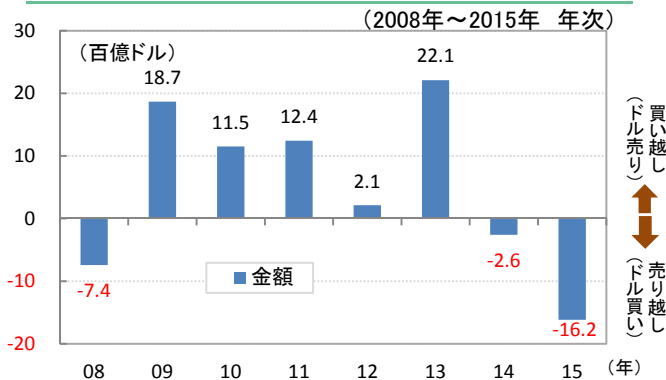
米国を巡る証券投資の動向

米国投資家による海外証券投資

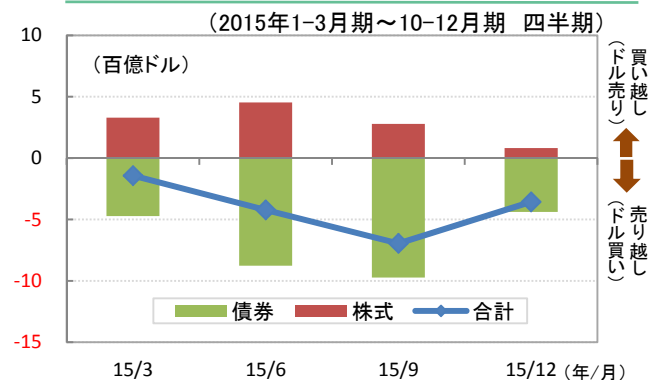
～ 証券投資に関する米国へのドル還流額は約19兆円。ドル独歩高の要因に ～

- 米財務省の国際証券投資統計(TICデータ)によると、2015年(年間)の米国投資家(投資家には公的部門含む、以下同じ)による海外証券(株式及び社債を含む債券)投資は約16.2百億ドル(約19兆円、1ドル115円換算、以下同じ)の売り越し(ドル買い・他通貨売り)となりました。前年に2008年のリーマン・ショック以来となる売り越しに転じており、2年連続となります。また、売り越し額は前年の約6倍に増加しました【図表1】。
- 四半期別では、中国元の切り下げ等で市場が混乱した7～9月期の売り越し額が最も大きくなっています。2015年(年間)の証券別では、株式は約11百億ドル(約13兆円)の買い越し、債券(社債含む)は約28百億ドル(約32兆円)の売り越しとなっています【図表2】。

図表1: 米国投資家による海外証券投資動向(年ベース)



図表2: 米国投資家による海外証券投資動向(2015年)

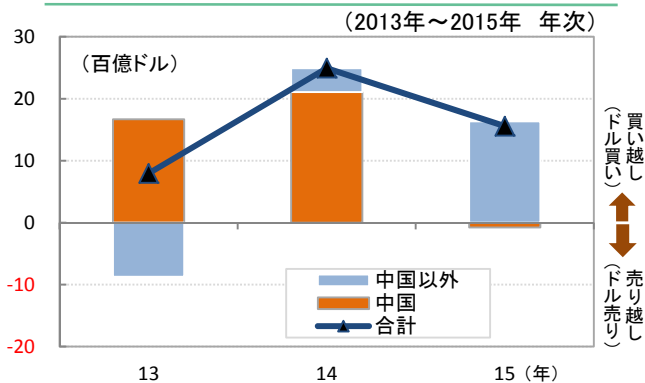


海外投資家による米国証券投資

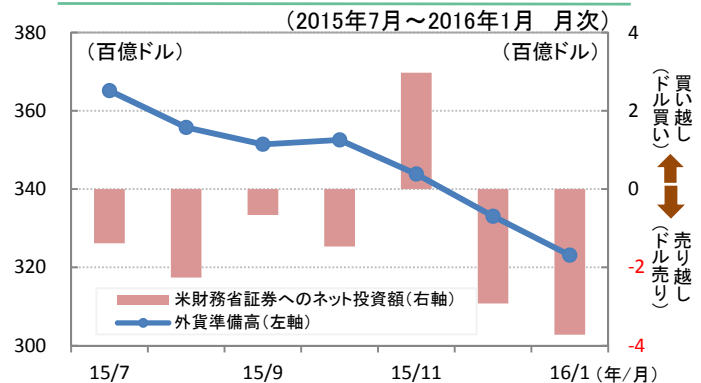
～ 中国投資家が売り越しに。中国の外貨準備高は過去最大の減少を記録 ～

- 同統計によると、2015年(年間)の海外投資家による米国証券投資は、約15.6百億ドル(約18兆円)の買い越しとなりましたが、金額は前年に比べ約4割減少しています。前年に約21.1百億ドル(約24兆円)(内、米財務省証券は約18.6百億ドル)を買い越した中国投資家が、2015年は約0.8百億ドル(約1兆円)(内、米財務省証券は約2.2百億ドル)の売り越しに転じたことが主因です【図表3】。
- 中国の外貨準備高が急減しています。2015年は年間で過去最大の約51.3百億ドル(約59兆円)の減少となりました。中国人民銀行は、景気鈍化懸念等を背景とする人民元の下落や資金流出を防止するため、人民元買い・ドル売りを行っていると考えられています。その介入資金手当てのために、外貨準備として持つドル資産の米財務省証券を売却したものと推測されます【図表4】。

図表3: 海外投資家による米国証券投資動向



図表4: 中国外貨準備高等の推移



出所: 図表1～4は米財務省のTICデータ、ブルームバーグデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成